

## 診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院消化器内科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この案内をお読みになり、ご自身やご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「ご自身やご家族の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

### 【対象となる方】

調査対象となる期間： 2008年1月1日 ～ 2017年11月30日の間に、虎の門病院消化器外科に入院し、膵切除術が施行され、病理組織学的に膵神経内分泌腫瘍と診断された方。

### 【研究課題名】

膵神経内分泌腫瘍切除例の超音波所見と臨床病理学的検討

### 【研究の目的・背景】

#### 《目的》

外科的切除となった膵神経内分泌腫瘍（pancreatic neuroendocrine tumor：pNET）の超音波検査所見と臨床病理学的特徴を解明することです。

#### 《研究に至る背景》

膵神経内分泌腫瘍（pNET）は膵腫瘍の1～2%と比較的稀な腫瘍ですが、近年の画像診断の進歩により無症候性に発見される頻度が増加しています。特に健診での腹部超音波で偶然みつかると頻度が高くなってきており、超音波所見の特徴を理解しておくことは診断にとっても重要なことです。一般的にpNETの典型的な超音波検査所見は境界明瞭・整、内部は均一低エコーで血流が豊富な傾向がありますが、嚢胞変性や石灰化を認める症例があることも特徴の一つです。しかし、非典型例では術前診断に難渋することがあります。またpNETの中にはインスリン、グルカゴン、ガストリンといったホルモンを分泌するものがあり、ホルモン症状があるものを機能性、ないものを非機能性と呼びますが、機能性か非機能性かや、腫瘍径、悪性度により、超音波検査所見の特徴が異なるかについての詳細な検討はこれまであまりなされていません。このため、今回我々は当院におけるpNET切除例について超音波検査所見ならびに臨床病理組織学的検討を行うこととしました。

### 【研究のために診療情報を解析研究する期間】

2018年6月28日 ～ 2019年3月31日

### 【単独／共同研究の別】

虎の門病院単独研究

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は、虎の門病院消化器内科 小山里香子のもと研究終了後 5 年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【利用する診療情報】

血液検査結果、画像検査結果（内視鏡画像、超音波画像、CT、MRI、ERCP）、診療録、看護記録、薬歴、手術記録、病理組織結果など

【研究代表者】

虎の門病院消化器内科 医長 小山 里香子

【虎の門病院における研究責任者】

虎の門病院消化器内科 医長 小山 里香子

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身やご家族の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身やご家族の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、平成 30 年 6 月 30 日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院消化器内科医長 小山 里香子  
電話 03-3588-1111(代表)